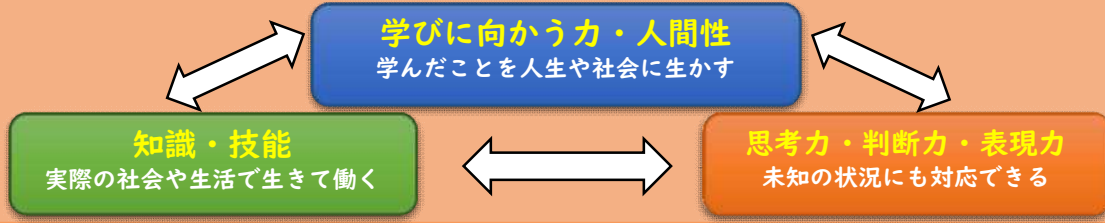


ニューノーマルの学習の実現

新しい学習指導要領では、子どもたちに3つの資質・能力を育成していきます。



3つの資質・能力を育成するために、新たにICT環境を整備し、子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導体制を確立するとともに、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を推進します。

一人ひとりに
合わせた個別学習



皆で行う
対面学習

◇一人ひとりに合わせた個別学習 〔個別最適な学び〕

- 一人1台ずつ貸与されたタブレットで、場所を選ばずに学習することができるようになります。
- 自分のペースに合わせて学習を進めることができるようになります。
- 達成感や自己肯定感を得ながら成長していけるような新しい学習スタイルです。



タブレットを使って学校でも家庭でも学習



従来通りの紙のノートや教科書を使った学習



動画等の学習教材によるオンラインでの学習

◇皆で行う対面学習 〔協働的な学び〕

- 学校で発表や実験等の学習活動を行い、意見を交換することで互いに刺激を受けて高め合います。
- 周囲と協働してよりよい課題解決方法を見つけ出していく学習を行っていきます。
- 皆で解決していくことで、個人では得られない達成感や自己有用感を得ることができます。



グループによる話し合い活動で意見を交換



タブレットを活用して自分の意見をまとめる



協働して得られた自分の意見を皆の前で発表

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を融合させた新しい令和の時代の学習スタイルが「ニューノーマルの学習」です。

ニューノーマルの学習の実現に向けて、新たに ICT 環境を整備します。

◇区立小学校・中学校の児童・生徒に1台ずつ貸与される端末（タブレット）

- iPad MYLA2J/A（第8世代）Wi-Fiモデル
- 10.2インチ 32GB 490g
- 付属品：ケース、有線キーボード、充電アダプタ・ケーブル

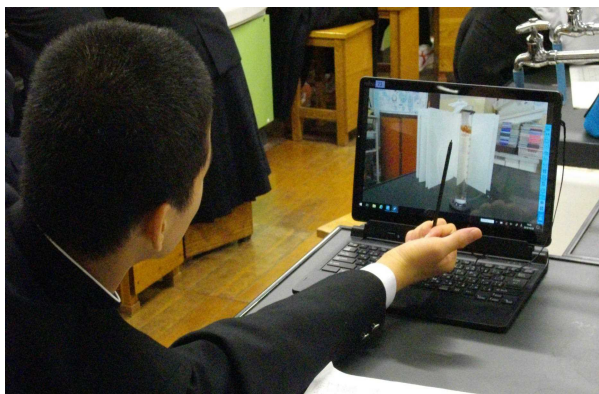


◇利用できる主なサービス

- Microsoft：Office「Word」、「Excel」、「PowerPoint」
- Google：「G suit for Education」
- NTT 東日本：「おまかせ教室 ラインズ eライブラリ」

すでに区内の小・中学校ではニューノーマルの学習に取り組んでいます。

◇実践事例



理科の授業の中で、実験の様子をタブレットで撮影することで、あとから何度も繰り返して観察することができます。

（北中野中学校）



一人ひとりがタブレットを使って、プログラミングソフトでアニメーションをどう動かすかを話し合っています。

（武蔵台小学校）

今後の学校教育では、次のような学習環境を目指していきます。

- タブレットを身近な「文房具」として活用し、子どもの自由な発想を引き出す。
- 誰一人取り残すことなく、一人ひとりの資質・能力を確実に育成する。
- 知識習得型の一方向授業ではなく**価値創造・課題解決型の双方向授業**を展開する。

保護者の皆様におかれましては、学校だけでなく家庭においてもタブレットを積極的に活用させる一方で、お子様の健康に十分留意をして、家庭での**適切な利用時間**や**利用方法のルールづくり**にご協力をお願いします。